

授業科目 急性期看護学演習

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	看護
栗原 弥生、荒木 玲子		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【概要・一般目標：G10】 急性状態にある対象の病態や生体反応を理解し、急性期にある対象に必要な看護援助の方法を習得する。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 急性期にある対象の身体的、心理的、社会的特徴を理解する。 2. 急性状態にある対象に必要な援助を説明する。 3. 具体的な援助方法を列挙する。 4. 急性期にある対象への看護の特徴とその看護目標を設定する。 5. 急性期にある対象への看護過程が展開できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション（授業の進め方）急性期にある対象の事例提示			1.2	講義 演習グループ討議
2	2～6回 急性期にある対象の事例展開（事例1）			1.2 3.4 5	グループ討議と 学生によるプレゼンテーション
7	7回～14回 事例提示 急性期にある対象の事例展開（事例2） 事例の看護についての発表 事例の看護援助の検討			1.2 3.4 5	グループ討議 発表
15	全体まとめ				
【使用図書】		<書名>		<著者名>	<発行所> <発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		NANDA看護診断2008-2010		日本看護診断学会 監訳	医学書院 2009・2,400円
		看護診断を読み解く(2008年版)		中木高夫	Gakken 2007・2,400円
参考書		NANDA看護診断の基本的理解		黒田裕子	医学書院
その他の資料					
【評価方法】 参加状況（20%）試験とレポート（80%）で評価する			【履修上の留意点】		